



さわらび保育園年報 第8号

2018年(平成30年)8月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 さわらび保育園

〒813-0031福岡市東区八田4-6-5

[TEL] 092-671-1881 [FAX] 092-671-1763

[E-mail] sawarabi@suo.bbq.jp

[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/



「古稀を迎えるにあたり」

理事長/統括園長 大浦 純平



私は来年2月で古稀(70歳)を迎えます。古稀(こき)とは、唐の詩人杜甫の詩の一節である「人生七十古来稀(まれ)なり」に由来しているそうです。この詩が詠まれたのが西暦760年位のことですから、その当時の平均寿命は判りませんが、推し量れば70歳はとてつもない長寿だったのでしょうか。しかし現在、日本男性の平均寿命は81歳とか、私でもまだまだ生かされるのかと思ったりします。それでも時折、可愛い孫と遊んでいて、「この子の成長を何歳まで見られるのかな」と頭を過(よ)ぎることがあります、これを「年のせい」と言うんでしょう。懐古(かいこ)するには早過ぎると言われるかも知れないし、近々、引退するわけでもありませんが、小欄では私が保育の世界に身を置いてから「さわらび」、「つぼみ」、「新宮つぼみ」に関わった40年を簡単に振り返ります。

● その前は…… 中学校では野球部で汗を流し、高校では部活がなかったので勉強一筋？ 大学では理工学部で化学を学び、ラグビー部で走り回っていた4年間でした。卒業後、ドイツに本社を置く医化学のメーカーに就職し、5年勤務した後、昭和52年、28歳の時に退職しました。

◆ 昭和52年が保育の世界への転換点…… 同年4月より、保母養成校に2年間通い(さわらびの三笠園長とは同級生でした)、保母資格を取得しました。卒業した昭和54年にさわらび保育園に入り、保父として現場を4年間経験し、ちびっ子ラグビーをやったり、ピアノに悪戦苦闘したことが懐かしく思い出されます。昭和58年にはつぼみ保育園の前園長の退任にともない、園長に就任しました。その年につぼみ保育園の園舎建替工事が予定されており、その準備で徹夜したこと、経理が複式簿記に転換し、机一杯に三枚複写の伝票をあげ仕訳したこと等、全てが初体験で大変だったことを覚えています。

◆ 以後20年、保育の原点を見据えながら…… 収穫体験だけの芋掘り遠足から自園の畑で芋の植え付けから収穫を体験する取り組みに変更し、保育参観を親子保育に形を変え、さらに一日保育士を導入して保育園での生活の様子を知ってもらい、影絵への取り組みを始め、縦割り保育を導入し、和太鼓を取り入れ自ら汗を流し、3歳以上児の副食給食を完全給食に移行し、七五三参拝やクリスマス会といった宗教的行事を取りやめ、平成19年にはある音楽グループ発表会を辞し三園合同音楽祭へ移行する…等々、職員と話し合いながら行ってきました。

◆ 平成15年 理事長就任…… 54歳の平成15年に理事会決議により理事長を任じられ、母、大浦仁子より法人の切り盛りを引き継ぐこととなりました。時を同じくして新宮町の保育園設置者の公募があり、応募した多くの事業者の中から指名を受け、平成17年に新宮つぼみ保育園を開園しました。次いで、平成22年には「第2つぼみ保育園(分園)」を、さらに平成26年には新宮中央駅前に「新宮つぼみ保育園 分園」を開園しました。

◆ 平成28年 社会福祉法人改革…… 全ての社会福祉法人に理事会の運営を牽制する意味で評議員会を置くことが義務づけられ、定款の変更をはじめ多くの準備を経て新評議員の皆様をお迎えし、新体制を作り上げました。このことで社会福祉法人の公益性をしっかりと守るための体制を構築できたと思っています。

◆ 待機児童そして危機的状態の求人難…… 近年、待機児童対策で新設園が続々と造られ保育士の需要が高まり、全国的な求人難に曝(さら)されています。採用方法に知恵を絞りながらこの危機を乗り越えなければなりません。今まで経験したことのないこの事態は私に与えられた「卒業試験」だと独りごちています。

◆ 振り返ると保育に関わって40年…… 何とかやってこられたのも、今まで勤務して頂いた沢山の職員に支えられ、保護者の皆様に多大なご協力を戴いたお陰だと感謝しています。また、保育団体の役員を歴任したお陰で全国に多くの知己を得たことも私の財産です。後何年かは次に託す準備を進めながら仕事をする積もりです、今後ともよろしくお願い致します。

● 追伸…… 私ごとですが好きなゴルフ・晩酌・家庭菜園等を、果たしていつまでやれるのかわかりませんが、体力と相談しながらぼちぼち続ける所存です。 お相手して下さいの方、大歓迎です。

皆さんこんにちは。昨年の3月まで12年間新宮つぼみ保育園の園長を務めさせて頂いていただきましたが、平成29年4月からは統括次長という職名を頂き、現在三園を長としておられます。理事長ととも、新しい社会福祉制度の中で体制の構築、就業規則はじめ数々の規則の整備、処遇改善等職員給与に関するご及び役所への申請、学生の採用に関するごなどにも煩雑な事務から離れ保育業務の管理運営に専念していただける一助になればと思っています。そしてもう一つ、私に役割がある

とすればそれは、保育の中の「音楽」に関することであると思っ

「今更(いまさら)」

統括次長 大浦まゆみ



保育園に関わるようになり、新宮つぼみの開設前まで二十年近くつぼみ保育園で経理事務の仕事をして来ましたが、その中で青組の合奏の編曲をするようになりまし

『これからも…』 平成30年度 父母の会 会長 生田淳一



今年度も会長を務めます生田淳一です。2期連続。通算4期目(在園期間10年)。さすがに迷いましたが、末娘もいよいよ卒園。お世話になった園への恩返しに気持ち。もう一つは、四役をはじめ、たくさん素敵なみなさんと一緒に活動できたという充実感から、もう1年チャレンジすることに決めました。

父母の会での、クラス役員(兼ねる実行委員)や各イベントのサポーターなどの負担は大きいです。しかし、その力は大きな力となって、園をしっかりと支え、子どもたちの笑顔につながっていると感じます。ただ、時代の変化に応じた効率化は必要です。たとえば、通信や実行委員からの各種案内。10年前は保育園のPCを借りて書記さんがタイプするという仕組みでした。PCが自宅にも普及するようになったこともあり、私が以前に会長をしたときに、実行委員と四役がUSBメモリーでデータを共有する形に変えま

が、始めたのは7、8年前。いまは、クラウドやSNSを活用したほうがいいのかもかもしれません。10年前は想像もしていなかった世界で私たちは生きています。でも、時代が変化しても変わらない「心」は大切にしたいですね。いまでは当たり前「おやじの会」。イベントごとに活動するところは一緒です。しかし、発足当初は公に位置付けられていませんでした。現在は、位置付けられ、四役との連携もスムーズです。たとえば、園、四役、おやじの会の三者での打ち合わせは、子どものことを真剣に議論するとても有意義な場になっています。さわらび保育園は、これまでも、これからも、子どもたちの笑顔のために向き合う「人と人とのつながり」で支えられていきます。

これからは、大人も子どもも、みんながつながりあって、楽しく活動ができればと考えています。皆さま、今後も父母の会の活動にご協力いただけますようお願いいたします。

子どもの健やかな育ちと私たちの役割 園長 三笠良子



豪雨や猛暑、この夏は例年の夏以上に自然の驚異を感じます。災害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り致します。さて保育園では、昨年のこの時期から現在に至るまで様々なことがありました。その中でも私たち職員も関係する「麻疹」の感染予防については大きな出来事の一つでした。全国的にもニュースになった麻疹の流行ですが、保育園は予防接種を受ける前の一歳未満の子どものみならず職員も罹る恐れがあります。調査の結果、12名が追加で麻疹の予防接種を受けました。この他にも、インフルエンザの予防注射も接種して感染予防に努めています。また、感染症の予防だけでなく、pH2.5や熱中症など戸外での活動に配慮が必要なものも増えています。子ども達の戸外での活動時間が制限される事もあります。健康と生命を守る為にも、充分警戒していきたいと思

さて、今年度から、前年度まで園外で行っていたキャンプを例年の天候の悪さや自然災害への憂慮から、園内での「お泊り保育」という形に変更しました。保護者の方々には戸惑いも見られましたが、子ども達は準備も当日の活動も楽しんでいました。親のものを離れて「夜の保育園」を体験する事はワクワク、ドキドキだったようです。場所は変われども子ども達が充分楽しめる様にと話し合いを重ねました。来年度以降に繋がる反省もできました。一昨年植えた園庭の木々も少しずつ生長しています。現在、園庭に手を加えようという計画です。男性保育士四名でプロジェクトチームを作り、よりダイナミックな遊びが出来るように、専門業者と話し合いの最中です。園庭はもちろん子どもにとって大切な環境の一つです。砂や水を使い、そして体を動かし一生懸命遊ぶ子ども達の姿を想像し、そんな環境作りを大切にしていきたいと思

行事日程表 (平成30年度) with columns for month/year and event details.

平成29年度 さわらび保育園決算状況 (単位 円)		
【 資金収支計算書 】		
事業活動 資金収支	保育事業収入	263,166,994
	経常経費寄附金収入	540,918
	受取利息配当金収入	40,939
	その他の収入	4,857,192
	事業活動収入計(1)	268,606,043
	人件費支出	167,098,839
	事業費支出	31,047,580
	事務費支出	11,136,722
	支払利息支出	132,781
	その他の支出	4,559,301
	事業活動支出計(2)	213,975,223
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		54,630,820
施設整備等 資金収支	施設整備等収入計(4)	1,350,000
	施設整備等支出計(5)	89,290,387
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-87,940,387
その他の活動 資金収支	その他の活動収入計(7)	70,000,000
	その他の活動支出計(8)	35,560,366
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	34,439,634
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	1,130,067
前期末支払資金残高(11)	27,539,689	
当期末支払資金残高(10)+(11)	28,669,756	

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	42,285,395
	固定資産	462,358,275
資産の合計		504,643,670
負債	流動負債	13,269,212
	固定負債	0
小 計		13,269,212
純資産	基本金	72,785,900
	国庫補助金等特別積立金	253,243,968
	その他の積立金	33,000,000
	次期繰越活動収支差額	132,344,590
	小 計	491,374,458
負債及び純資産の合計		504,643,670

※詳しくは輔に会ホームページの情報公開よりご覧頂けます

平成30年度 職員構成 (8月1日現在 55名)	
理事長	大浦 純平
統括次長	大浦 まゆみ
園 長	三笠 良子
主 任	荒津 佐知子
副主任	中村 一星
事務主任	林 美由起
もも組	原口 直美 磯 志穂実 渡辺 久美子 福山 美幸 中島 千賀子 古賀 美夏
うめ1組	飛来 弘子 櫻井 日菜 久保 香織 福山 ひとみ 安部 美子
さくら1組	池田 加奈 前車 智子 鎌田 眞理 柳 孝恵
さくら2組	濱 千尋 花元 萌 松田 雄紀 佐野 美奈子 山下 鈴華
さくら3組	湯之前 駿司 中野 日花里 袴田 れい子 今村 優己子 松本 奈緒美
年少フリー	薄 一美
なのはな組	中村 一星 下川 加南子
たんぽぽ組	楠本 勝馬 朴木 千佳子
すみれ組	小林 千春 佐藤 由佳
れんげ組	山本 紗代 國武 歩実
つくし組	島山 美桜 森 浩貴
年長フリー	林田 亜由美
栄養士	渡辺 和 谷口 穂香
調理員	串崎 美津代 西原 ひろ子 郷良 小百合 清水 妃鶴 池田 善子 齋藤 豊子 神田 英里香
用務員	小嶋 満廣
産休/育休	平河 奈緒子 串尾 由依 柴藤 彩

平成30年度 父母の会役員	
会 長	生田 淳一
副会長	大枝 亮智
々	三根 一晃
書 記	川崎 佳奈
々	村島 杏奈
会 計	松田 茜
々	渡田 麻奈美
役 員	中西 美里
々	田邊 貴和子
々	庵原 彩
々	山下 ゆみ
々	高島 恵美
々	吉田 李香
々	安武 茉由
々	後藤 紀子
々	小野 聖莉菜
々	大野 由紀
々	大下内 恵
々	金藏 舞
々	中尾 里佳子
々	江口 阿衣
々	富士本 宏美
々	永浦 加奈子
々	安田 ゆかり
々	田中 有紀
々	松山 茜
々	中尾 恵美
々	板木 真菜美
々	石井 順子
々	河野 小百合
々	花田 彩香
々	下尾 優未
々	村上 時枝
々	岩崎 綾子
々	松本 直子
監 査	藤本 倫代
々	黒岩 貴子

## おやじの会 ～楽しく活動中～

### 30年度 おやじの会会長 堀 光希

おやじの会代表の堀です。おやじの会では毎年さわらび保育園で行われる行事のお手伝いをさせて頂いており、行事の中で同じTシャツを着ていつもわいわい騒いでいるおじさんの集まり、それがおやじの会です。

主に夏前には園のプール清掃や夏祭りでの会場準備と花火の打ち上げ、運動会での会場準備にプログ

ム内での道具準備、そして冬にあるもちつき等、様々な行事の中で先生方や各行事でのサポーターの方々以外にも力仕事や人手が必要な時にお手伝いをさせて頂いているのがおやじの会の活動内容です。

こうして年間を通して活動をしているおやじの会ですが、メンバーであるお父さん達は、もちろんみなさん仕事がありますので、全ての行事



プール掃除



夏祭り・花火の様子



運動会



もちつき

## 一年目を振り返って

今年二年目となる保育士の皆さんに新人として過ごした昨年度を振り返ってもらいました。辛かったことやきつかったこと、また嬉しかったこと... それぞれの思いを書いてもらいました。

保育士になってからの一年間は「学び」の一年間でした。年長フリーとして就かせて頂いた昨年。初めの頃は心細かったり、どんな仕事をすればいいのかわからなかったり不安でいっぱいでした。四・五月は一日一日を乗り切る事が必死で、涙が出るほどきつかったことを今でも覚えていてます。仕事の進め方、子ども達との関わり方にたくさん悩まされたこともありました。先輩方からの指導とアドバイス一つ一つが頼りでした。少しずつ仕事にも慣れ始め、子ども達ともうまくコミュニケーションがとれるようになって、頼ってもらえるようになって来た時は嬉しかったです。

行事や毎日の生活を通して、一人一人の小さな成長に気付けること、そして、子ども達と一緒に自分自身もたくさん学び成長していることがとても幸せに感じました。子ども達との関わりにぶつかるとやうまくいかない事も沢山あり、悔しくなったり、きつかったけれど、色々なことを乗り越えられたから今の自分がいるのだらうと思っています。日々子ども達から学ばせてもらっています。

これからの子ども達と一緒に学び成長し続け、二年目になり先輩も出たので一年前の自分の気持ちで子どもや先輩との関わりを大切にしていきたいと思えます。

去年一年間さわらび保育園で働いてみて、『保育士』という仕事の大切さ実感が湧いておらず働き始めて子どもを命を預かること、子どもがこれから生きていくための基盤となるものを育てていく、ということにプレッシャーに感じました。

自分の言葉遣いや、行動、関わり方が子どもたちにはすごく影響があり、「僕にできるのかな」「僕がしていいのかな」とすごく不安でした。ですが優しい先輩方が多く、相談に乗っていただいたり、アドバイスをくれました。

昨年度は、一歳児クラスを持たせていただきました。新人として過ごした一年間を振り返ってみると、とにかく毎日が慌ただしく不安と反省の一年でした。保育士として慣れないこと、未熟なところが多かったのですが、周りの先生方がご指導やフォローしてくださったおかげで一年間をやりきることができました。

一歳児クラスを持つてみて、一人ひとりの発達の違い、その子に合わせた関わり方や、子どもたちを惹きつけることがとても難しいと感じました。うまくいかない事ばっかりで、とにかく私自身反省の多い一年でした。その中で四月にはまだお喋りができなかった子たちが、「なかのせんせい」と呼んでくれたとき、一年間を通して子どもたちの成長を感じることができました。この仕事をして良かったと思えました。

まだまだ保育士として未熟ですが、昨年度の反省を踏まえて成長できるように周りの先生方の保育をしっかりと見て、聞いて保育とは何かをよく考え、子どもたちに寄り添い一日一日を大切にしていきたいです。

## めだか・かぶとむしが 元気に育っています

メダカを育てている方に頂いたメダカが大きくなり、卵を産んだり、小さな稚魚が産まれたりと、園内にも小さな命が生まれ、子ども達も事務室前のメダカをよく観察しています。

そして、3年前に保護者に頂いたカブト虫が、卵から幼虫、成虫へと成長して3度目の夏。今年は26匹のカブトムシが成虫になり出てくれました。さなぎの段階になると「カブト虫いつでてくる?」「あっ、今動いた!」と興味を示し、出てくると「ゼリー食べてる!」「けんかしよう!」とよく観察しています。お世話を通して、命の大切さ、成長の喜びなどを感じることが出来ればと思います。




(楠本)

### 寄せられた意見・要望の状況

受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
平成29年5月8日	通行車両の方	駐車場から出る車が左側からの安全確認を怠っている注意してほしい。	電話口で丁寧に謝り、対応する事を伝える。保護者に苦情の内容を掲示して、個々の注意を喚起する。又駐車場入り口に立ち声を掛ける。

ICT化進行中

福岡市の「保育業務支援システム導入事業補助金」を受けてICT化を進めています。保護者の皆様にQRカードを使い登園降園時にご協力をいただいています。出席の確認や、健康観察、書類の作成など職員もシステムの活用慣れ、業務の効率化をめざしています。

(中村)